

どうすれば語彙学習が楽になるか

国立国語研究所 松下 達彦



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所
National Institute for Japanese Language and Linguistics

1. 必要な語彙とは？

- ・語彙とは⇒語のあつまり
- ・日本語母語話者の語彙
中学生で2万語程度
大学生で4万語程度
- ・日本語学習者の語彙 (JLPT基準)
初級 (N5, N4) 1500~2000語
中級 (N3, N2) 7000語程度
上級 (N1) 1万8千語以上

2. テキストカバー率とテキストの理解度の関係

- ・(既知語の)テキストカバー率とは？
テキストの総語数のうち何%が知っている語か
- ・テキスト(文章・談話)の単語の95%程度を理解(知らない語は20語に1語)できれば、
テキストがある程度理解できる
⇒これを指す
- ・少ない語数でテキストカバー率を上げると・・・
⇒語彙学習が楽に!

3. 語彙学習を楽にする方法

少ない語数で高いテキストカバー率を達成すること

=学習する語の数を減らすこと

- ・どうやって? ⇒目的に応じて必要度の高い語から順に身に付ける
例) 語彙階層を知ること、特徴語リストを使うこと
⇒必要なジャンルの語をレベルに合わせて学習する

4. これからやろうと思っている研究・開発

A) テキストの語彙的特性を明らかにするツール(語彙プロファイラー)を作る

例) J-LEXをもっと高機能にしたものを作る

そのためには・・・各種語彙リストの開発及び再開発が必要

- ・初級語彙・・・学習目的別に
 - ・小中学校用語彙の学年配当試案
 - ・学術共通語彙
 - ・文系共通語彙/理系共通語彙
 - ・人文語彙/社会科学語彙/理工系語彙/生物・医学系語彙
 - ・〇〇学語彙
 - ・文芸語彙
- などなど

B) (JCAWTのような) 各種の診断用語彙テストを増やす

C) A、Bをどう使えばよいかを明らかにする・・・「〇〇用語彙テストで〇点とれた人は、
語彙プロファイラーで〇〇レベルのテキストがちょうどよい」というようなことがわかるようにする

詳しく知りたい方は「松下言語学習ラボ」へ!!